

～ご あ い さ つ ～

保護者のみなさま、そして地域のみなさま、平素は瀬田南小学校の学校運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本号「瀬田南小通信」は、学校と地域と保護者がより強い結びつきの中で子どもたちの健全育成に努めたいと願い、7月18日に第1号を発行させていただきました。地域のみなさまへは、回覧という形でご覧いただいたかと存じます。その際にも記しておきましたが、保護者様向けの学校だよりとは別に、学期に1回程度の発行に努めたいと考え、本号がその2号目となります。

年末・年始、何かとお忙しいこととは存じますが、本校の現状についてほんの一面ではございますがご一読いただき、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

瀬田南小学校 校長 齊城勝美

大規模改修まもなく終了

2年以上にわたり進めて参りました本校の大規模改修工事ですが、仮設校舎の取り壊し作業も終わり、ほぼ完了の運びとなっております。最終的な工事の完了は、年明け2月となっておりますが、校舎の改修自体は完了しております。したがって、全児童が改修を終えた教室にて学校生活を送っております。残すところは、仮設校舎の跡地(旧体育館跡地、別名：小運動場跡地)の舗装工事と正面玄関付近と中庭の整備など、外回りの工事が主となっております。



ご来校に際しましては、駐車場等の関係で今しばらくご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますよう、よろしく願いいたします。

なお、工事の間、とくに周辺住民のみなさまには多大なるご迷惑をおかけいたしました。この場を借りまして、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

♥「ちょっといい話」のご紹介♥

11月中旬、校長のところにある保護者様から一枚のメモが届けられました。内容は、その保護者様がお子さんたちと一緒に帰宅されていたところ、地域のお住まいのお年寄りから「先日、新幹線の高架下で転んで流血するけがをして立ち上がれないでいた時、下校中の女兒2名が手助けをしてくれた。本当に困っていたので、ありがたかった。ですが、顔がわからずお礼が言えない。」とのお声かけがあったとのことでした。

私は、このメモを見て、「すばらしい。南小の子どものいいところだ。ぜひほめてあげたい。」と思い、さりげなく担任を通して心当たりのある児童がいないかを聞いてみたところ、5年生の児童らしいことが分かりました。

目前に困っている人がいれば、手を差し伸べることは当然の行為かも知れません。ですが、その当然の行為を当たり前のこととしてできた児童が本校に在籍していることに大きな喜びを感じています。引き続き、あいさつや時間を守っての行動など、「当たり前のことを、当たり前のようにできる子」の育成に努めて行きます。

南っ子 2学期のがんばり編

9月 葛川ふるさと体験学習(4年生)・・・初めての宿泊体験、自然とふれあい、仲間との絆を深めました。



10月 運動会・・・競技も演技も、練習の成果をしっかりと発揮できました。 ※写真は上段左より1～3年、下段4～6年



福祉学習(5年生)・・・老人クラブの方からお話を聞き、住みよい町づくりについて考えました。



11月 修学旅行(6年生)・・・広島平和記念公園を訪れ、戦争と平和について考えました。



※南っ子のがんばりは、ホームページにも掲載しています。そちらも合わせてご覧ください。ホームページでは学校だよりやこの南小通信をカラーにてご覧いただけます。

「南っ子 心をみがく 4つの約束」継続して取り組んでいます

4月当初から、子どもたちには「南っ子 心をみがく 4つの約束」として以下のことを指導しています。生活委員会によるポスターや、よびかけ、「もくもく掃除プロジェクト」による有志の活動などを通して少しずつ全校の子どもたちに定着してきました。全校の誰もが自信を持って4つの約束を守って過ごしていると、言えるように今後も、継続して取り組んでいきたいと思えます。

- ①あいさつは あいての目を見て はきはきと
- ②くつは「つまさき こっつん かかとぴたっ」
- ③そうじは じかんいっぱい もくもくと
- ④きくときは はなす人に からだをむけて うなづきながら



子どもたちの安心・安全のために地域の方々にご協力いただきました

ここ最近、相次ぐ不審者情報に子どもたちや保護者の方々には、大変不安な思いをされていることと思います。日々の登下校では、保護者の方々の立ち番をはじめ、スクールガードの方々にも大変お世話になっています。また、校外に出る学習では、保護者の方々や警察の方にも見守りをさせていただきました。地域の安全は地域で守るという思いを持って協力していただけたことに心から感謝しています。



豊かな心を育てる学習を継続して行っています

総合的な学習や道徳の学習等、子どもたちの豊かな心を育てる学習を継続して行っています。11月には、全学級道徳の授業参観を実施しました。また、5年生の福祉教育では、瀬田南老人クラブの方々やおうみ未来塾の方にゲストティーチャーとして来ていただき、出前講話をしていただきました。



瀬田南老人クラブ

おうみ未来塾「仕事人と語ろう！」

特別な教科「道徳」の実践と公開

<学力向上推進事業 基礎学力定着プログラム実施校の指定を受けて>

今年度、本校では大津市教育委員会の「学習定着プログラム」の指定を受け、子どもたちの学力向上に向けて下記のような取り組みを実施しています。

①きぼしんの部屋(少人数指導)

1学期より、2年生・3年生で学習につまずきが見られる子どもたちを対象に、少人数教室を設け、個別の指導を実施してきました。運動会終了後からは1年生も参加しています。

●子どもの日記から ～二学期でがんばったこと～
 わたしは、算数ができなかったけど、きぼしんべやに行ってからすこしだけ算数ができるようになりました。

参加している子どもたちは、きぼしんの部屋に喜んで取り組み、張り切って学習している様子が見られています。つまずきやすく苦手であった学習内容や、基礎的な学力及び付けたい力の定着が日増しに見られ、子どもたちの自信にもつながり、少人数指導の効果を感じています。

②学習定着状況調査(光ルくん調査)

第4学年・第5学年を対象に、「国語科」「算数科」の学習状況調査及び「質問紙」調査を、6月及び1月の年間2回実施しています。(※学習定着状況調査に係る費用は、大津市が負担します。) 調査結果をもとに、授業改善を進め、個別の補充・振り返りプリントを用意し、学習の補充を行っています。

③きぼしん検定テスト(学習定着度調査)

つまずきが見られている主な学習内容

- ・1年生 「20までの数のくり上がり、くり下がり」
- ・2年生 「基本的なたし算・ひき算の筆算」
- ・3年生 「桁数の多いたし算・ひき算の筆算」
- ・4年生 「2けた以上のかけ算の筆算」
- ・5年生 「小数のわり算の筆算」
- ・6年生 「分数のわり算」

2学期より、本校の子どもたち全員を対象とした基本的な計算力の定着度を計る「きぼしん検定」を実施しています。各学年で身につけておきたい学習内容から、計算20問のテストを作成し、月末のきぼしんタイム(15分間)で月一回実施しています。

その結果を分析し、各学年のつまずきの多い学習に関しては再度定着を図るため、算数科の時間に復習タイムを導入する等、日常の授業改善に活かしています。

テストは90点を合格とし、到達できなかった子どもたちには、翌週より「きぼしんレベルアップ教室」を昼休みに開き、そこで再度テストを行ったり個別指導を行ったりという機会を設けています。

<校内研究として>

今年度は、「確かな学力を定着させる授業の創造～児童の「できる」を生み出す知的活動の工夫～」をテーマに、基礎基本の強化・徹底に力を入れることを共通の視点として、校内研究を進めてきました。基礎基本が身につくと、問題を解決できるという自信へと繋がり、自己肯定感を生み出していきます。問題に対してあきらめず最後まで取り組むためには、その積み上げが重要です。また、問題解決の場面で、そういった既習内容を活用できることが本当の学びを生み出します。

授業においては、身につけたい力の習熟を図るための学習計画や教材研究の精選等、各学年で進めてきました。既習内容の活用のさせ方で、子どもたちの学び方が大きく変わります。課題解決に迫るためのステップアップ等、解決への手がかりをつかむことで子どもたちは意欲的になり、問題解決へのモチベーションが向上してきました。

